



あ に

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課

印刷所 秋田県阿仁町水無安東印刷所

'73

12月

頒価 10円



祝鷹角線十二段ずい道(山)その他工事起工式

施工者 フジタ工業株式会社仙台支店

発注者 日本鉄道建設公団盛岡支社

鷹角線

トンネル工事始まる

よろこびの起工式

バババイン雪のしずまをぬつて、力強いハッパのひびきが山合いにこだまする。

鉄道の工事がいよいよ開始された、この日のあるのを夢にまで見、待ちこがれた、そして町の新しい未来を拓く祝砲のようでもある。

十二月十三日、ポツカリとトンネル口の見える現地中村で、「鷹角線十二段ずい道その他工事の起工式」が行なわれました。

鉄道建設公団をはじめ工事施工者、北口・南口の期成同盟会、および地元関係者が多数参席し、折りからの吹雪の中を、工事の安全を祈り着工をよろこびあいました。

鷹角線の未工事区間比立内と宮田間一九・五キロを、五ヶ年計画で着工することが決まり、その第一期工事が始まったわけですが、工事は四十八年十月から二十二ヶ月の間に、十二段トンネルの堀削一・九キロ、第一打当橋七六・三八メートル路盤工事三百二十メートルなど、合計二、三二〇メートルを総工費七億八千万円で仕上げる計画です。

工事請負業者はフジタ工業（本社東京）で、すでに現地では従業員宿舎も建ち並び、トンネル工事のハツパの音が連日鳴りひびき、あわたたしさの中にも、活気をみなぎらせています。

このトンネルの向うに、やがて明るい陽がさしこむとき、町の新しい未来が開けるものと、その日の一日も早いことが待たれます。

町の人口

7,566人

(8人減)

男 3,601

女 3,965

世帯 1,802

(2世帯増)

転入 33人

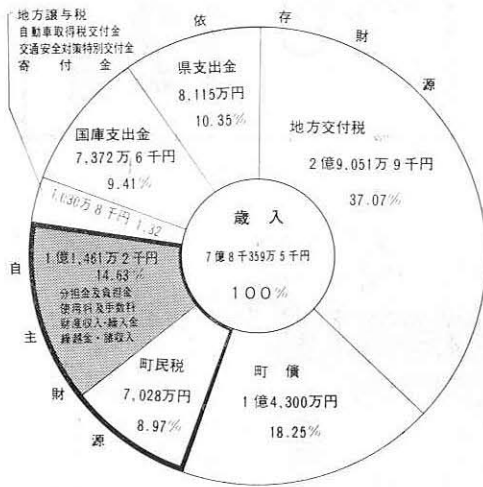
転出 42人

出生 3人

死亡 4人

48年11月30日現在住民基本台帳人口による

歳入内訳



一般会計 2,586万円繰越し

47年度の決算

町の家計簿を報告します

十二月の臨時町議会で、昭和四十七年度の一般会計および各特別会計の決算が認定されましたので、ここにその概要を報告いたします。

一般会計では、歳入が七億八千三百五十九万五千円、歳出が七億五千七百七十三万四千円、差引き二千五百八十六万一千円の繰越しとなりました。

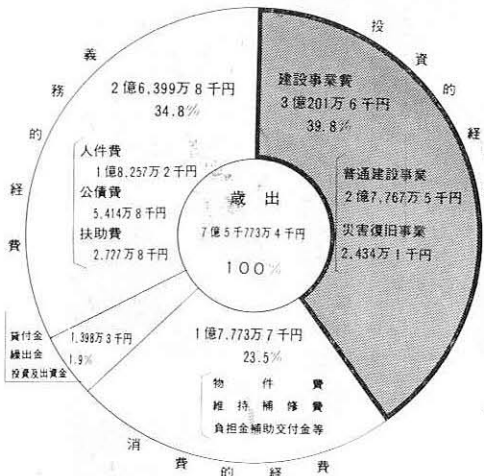
歳出額は、昨年より二億三千三百五十一万一千円(四四・五%)多くなっております。また、繰越金は主に阿仁合中学校の火災保険料の収入によるものです。

歳入：総額七億八千三百五十九万五千円のうち、主なるものは、地方交付税が二億九千五百二十二万(三七・七%)、町債(借入)が一億四千三百万円(一八・二五%)、諸収入九千四百

円、県支出金八千五百十五万七千円、国庫支出金七千三百七十三万円となっており、主要な自主財源である町税は七千二百八十八万円で九%を占め、いぜんとして依存財源が主となつております。

歳出：総額七億五千七百七十三万四千円のうち、最も多いのが建設費で、全体の三九・八%を占める三億二千二百二十万で、前年比一〇・二%の増加となつております。また、人件費および物件費については、前年より八・四%少ない二億七千四百四十万円となっており、以下

歳出性質別内訳



負担金補助金が九・八%、公債費の七・一%が主なる歳出となつております。

決算からみた主なる建設事業

- ▽大河仁保育所建設 一千四百三万円
- ▽簡易水道建設 二千九百九十六万円
- ▽肉牛生産団地造成事業 四千八百八十万円
- ▽林業構造改善事業 一千六十万円
- ▽荒瀬川線改良 七百九十九万円
- ▽檜畑二ノ又線開設 七百八十四万円
- ▽町民体育館建設 五千六十三万円
- ▽小椋林道改良 五百七十八万円
- ▽萱草児童館建設 三百六十二万円
- ▽土地改良事業 八百六十九万円
- ▽テレビ共聴施設事業

特別会計

特別会計については、別表のとおり各会計とも黒字決算となつておりますが、国保会計が老人の医療費無料等もあつて、歳出で前年より四三%増となつております。

会計名	歳入	歳出
農業共済会計	8,116	6,498
国保会計	76,525	74,010
中村診療所会計	1,761	1,731
阿仁合財産区会計	30,608	30,397
大河仁財産区会計	189	113

特別会計決算

議会費 1,577万円 2.1% 	総務費 9,841万円 13.0% 	民生費 8,829万円 11.7% 	衛生費 5,441万円 7.2%
労働費 53万円 0.1% 	農林水産業費 1億2,404万円 16.4% 	商工費 1,974万円 2.6% 	土木費 6,402万円 8.5%
消防費 1,905万円 2.5% 	教育費 1億9,033万円 25.1% 	災害復旧費 2,434万円 3.2% 	公債費 5,416万円 7.2%

交通事故死亡ゼロ

一、九〇〇日達成

秋田県の交通事故による死亡者が、昨年を上まわる

最悪の事態となった、と報道されましたが、まったくおそろしいことといえます。



わが町は十二月二十日現在で、死亡事故ゼロ一九〇〇日突破しました。この記録は絶やしてはならない記録であり、いつまでもつづけられるのがみんなの願いです。

十二月一日から七日までの一週間は、年末の交通安全運動として、指導車によるPRや街頭指導が行なわれて

善意

老人ホーム 公民館に

老人ホームと公民館に、次のおりご芳志がありました。

十月八日、阿仁町公民館伏影分館の一行(代表武田清富)十名が、ホームの視察の折、たくさんのお菓子で慰問。十一月十五日、阿仁合衆人会大町支部(支部長小武海ウタ他三十七名)の代表の方より、会員の拠金で入所者全員にタオルと石けんが贈られました。下新町の村岡国治さんから老人ホームと公民館に、民芸品「モクメー」の置物花立などが寄贈されました。○下新町の北林四郎さんから、公民館にテーブル掛の白布が寄贈されました。

軍人恩給が改正 老令者に加算支給

該当者は届出を

このたび、恩給法の一部が改正なり、軍人恩給が加算支給されることになりました。とくに今回は、老令者に優遇措置がとられ、次の方が該当となります。

- (1) 昭和二十八年以降軍人恩給裁定になり、現在受給中で昭和五十年までに七〇歳にならぬ方。
- (2) 戦前に軍人恩給を受給しており、再度兵役に服された方(例、十八年に恩給支給者になつて、その後召集その他で兵役に服した人)

該当される方は印かん、軍人手帳を持参の上、役場福祉係までおいでください

年末年始の役場執務 新年は四日から

役場の年末年始の休日は次のとおりですので、ご協力をお願いします。

十二月二十九日(土)から一月三日(木)まで。新年は四日から執務を開始いたします。

ゴミ集収は一月七日から始めます

29日から6日まで休み 年末年始のごみ集収日程は次のとおりですのでご協力願います。

十二月三十日(日)から一月六日(日)まで休みしたが、年明けは七日(月)から平常通りとなり、ゴミを出さないようご協力願います。

なお、一月の燃えないゴミの日程は、二十一日から二十六日までとなります。

本をゆずって ください

公民館図書室

阿仁町公民館図書室では町民一人ひとりに一冊の本を、と、いわゆる読書推進運動として、日頃の読書の習慣を身につけましようと呼びかけております。しかし、図書の購入も難かしく蔵書も少ないので困つておられます。どなたかお読み捨てになつた本でも結構ですので、お譲りいただけませんか、ご連絡いただければお伺いいたします。また、お譲りいただいた本は大切に取扱いたします。

訂正

先月号広報で、年金の谷間にある六十七歳〜六十九歳の方に、老令特別給付金を月五千元支給とありましたが、を、月四千元の誤りにつき訂正してお詫びします

慶弔だより11月

●こんにちは・赤ちゃん

お名前 保護者 住所 庄司睦美(千代之助)吉田 湊 健作(義己)根子 金沢 美紀(雄吉)大町

◎結婚しおしあわせに

(菊地) 政男 羽立 阿部 光子 本莊市 (松橋) 定男 米内沢 (柴田) 照代 小倉

- (畠山) 三千男 上新町
- (柴田) ツネ 峰浜村
- (北林) 昭男 下新町
- (小林) エミ子 上新町
- (工藤) 正二 吉田
- (松橋) 正二 吉田
- (松橋) 正二 吉田
- (松橋) 正二 吉田
- (浦田) 卓男 神奈川
- (佐藤) 多鶴子 東裏

●死亡しおくやみ申します

- (松橋) 兵藏(73) 比立内
- (西根) オト(63) 幸屋
- (小林) トミエ(62) 新町

コミュニティ 1町の対策

建設に起債を配分又補助金を交付する事になつて

事は、十月号広報豆用語解説で御承知の事と思ひます

今月はコミュニティは人間の心の交流によつて地域住民の生活の環境を充実させる事にあるようです

阿仁町においても都市化の様ですが生活様式や生活意識の都市化の傾向によつて生活の場である部落や地域における人間と人間との結びつきがうすれ、反面自己本位的な考え方や職場での結びつきが多くを支配するようになり、いかに経済成長率が高いと云つても生活の場の人間性が失われ、人間の幸福はあり得ない、とも云われます

その点阿仁町では都会と異なり各種団体の活動により、ある程度の要求は満たされておられ、一例荒瀬部落のよう自然にコミュニティを形成しておられるような場合もあり

最近阿仁町においても同

県では昭和五〇年度までに県内全市町村に一ヶ所モデル地区を設定し、コミュニティ施設の建設に起債を配分又補助金を交付する事になつて

事は、十月号広報豆用語解説で御承知の事と思ひます

今月はコミュニティは人間の心の交流によつて地域住民の生活の環境を充実させる事にあるようです

阿仁町においても都市化の様ですが生活様式や生活意識の都市化の傾向によつて生活の場である部落や地域における人間と人間との結びつきがうすれ、反面自己本位的な考え方や職場での結びつきが多くを支配するようになり、いかに経済成長率が高いと云つても生活の場の人間性が失われ、人間の幸福はあり得ない、とも云われます

その点阿仁町では都会と異なり各種団体の活動により、ある程度の要求は満たされておられ、一例荒瀬部落のよう自然にコミュニティを形成しておられるような場合もあり

最近阿仁町においても同